

小池知事と語る、東京の無電柱化

盛会に終了いたしました。多くのご参加、どうもありがとうございました。



11月10日は、無電柱化の推進に関する法律で定める「無電柱化の日」。都庁では、「小池知事と語る、東京の無電柱化」と題したイベントを開催し、約400名の多くの方が参加しました。

出演者には小池知事のほか、放送プロデューサーのデーブ・スペクター氏、元文化庁長官の近藤誠一氏、司会にフリーアナウンサーの石山愛子氏をお迎えし、無電柱化についてトークセッションを行いました。



小池百合子
東京都知事



コメンテーター
デーブ・スペクター氏
(放送プロデューサー)



コメンテーター
近藤誠一氏
(元文化庁長官)



コーディネーター
石山愛子氏
(フリーアナウンサー)

小池知事は冒頭、「昨年法律が制定され、今年都の無電柱化推進条例が施行し、制度面の準備は出来た。2020年大会には、見えるインフラから見えないインフラに変えていく、いい機会になれば」と述べました。その後、事前に寄せられた無電柱化に関する質問や意見をもとに、防災、景観、歩行空間の確保、計画、技術開発といった様々な角度から話し合いました。

小池知事は、「私は阪神・淡路大震災で、多くの電柱が倒れているのを目にした。その結果として、救助の手が伸びなくなるので、防災上も無電柱化は重要」と説明しました。また、デーブ・スペクター氏は「今日皆さんに集まっていたのは、関心が高いということで、非常に心強い」、近藤誠一氏は「大都会では戦後の復興時に便利さや利便さに傾いてしまい、景観に対する思いが薄まっているのでは」とコメントしました。その後、会場の参加者からの質問にも答え、イベントを終了しました。

東京都では、寄せられたご意見を参考にさせていただきながら、区市町村や関係事業者等と連携し、無電柱化の推進を図っていきます。